

知立市議会主催

第35回議会報告会

企画文教委員会

予算・決算委員会 企画文教分科会

令和3年3月定例会の報告



令和3年5月8日（土）

委員長	山口 義勝	
副委員長	牛野 北斗	（発表者）
委員	杉山 千春	神谷 文明
	田中 健	石川 智子
	風間 勝治	

【議案等合計12件】 条例：7件 協定締結：1件 予算：4件

3月定例会で審査した議案(委員会)

委員会所管 (8件) ※すべて自由討議、討論はなく、「採択すべきもの」と決しました。

質疑あり	議案第2号	知立市文化芸術基本計画の策定について		議案第6号	知立市特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例を定める条例の一部を改正する条例
質疑あり	議案第3号	知立市公平委員会の委員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例		議案第7号	知立市会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
	議案第4号	知立市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	質疑あり	議案第16号	知立市野外センター条例を廃止する条例
質疑あり	議案第5号	知立市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例	質疑あり	議案第17号	定住自立圏の形成に関する協定の締結について

3月定例会で審査した議案(分科会)

分科会所管 (4件)		※すべて自由討議はありませんでした。
質疑あり	議案第19号	令和2年度知立市一般会計補正予算(12号)
質疑あり	議案第25号	令和3年度知立市一般会計予算
	議案第27号	令和3年度知立市土地取得特別会計予算
	議案第32号	令和3年度知立市一般会計補正予算(第1号)

<令和3年度一般会計予算についての主な質疑>

- 災害時受援計画策定事業
- 自転車乗車用ヘルメット購入補助事業
- 産官学連携事業(市制50周年事業)
- 街頭防犯カメラ設置事業
- 駅前サテライトキャンパス運営事業費補助事業
- スクールソーシャルワーカーの配置
- 広報広聴事務管理事業
- 多文化子育てサロン事業
- 外国人受入環境整備運営事業
(テレビ通訳システム導入)
- 野外センター管理運営事業
(不動産鑑定委託業務)
- 情報セキュリティ強化対策事業



今回ご報告する議案の内容



1. 計画・条例より

- ①文化芸術推進基本計画
- ②野外センター条例を廃止する条例

2. 令和3年度一般会計予算より

- ①自転車乗車用ヘルメット購入補助事業
- ②街頭防犯カメラ設置事業

① 知立市文化芸術推進基本計画（概要）



一人ひとりが文化芸術とともに生きる豊かな地域社会の形成を目指し、『知る 育む 心を結ぶ 文化芸術を身近に感じるまちづくり』を基本理念に、文化芸術の価値を認識し、様々な文化芸術を受け継ぎ、発展させるとともに、新たな文化芸術の創造と普及を総合的かつ計画的に進める。

施策の具体化を求める「附帯決議」が実現 = 策定への経緯

文化芸術基本条例（平成30年3月定例会）の採択時に議員提出議案で「文化芸術の推進に関する計画の策定」「多文化共生の推進」等を付帯決議し、条例の実効性を求めて来ました。今回の計画策定により、より具体的な施策の実施が期待されます。



① 知立市文化芸術推進基本計画（質疑の概要）



（問）本計画に「文化権」が明記されたことは特徴の一つ。その意義は。



（答）文化芸術は生まれながら誰もが享受する権利（文化権）と位置づけ、文化芸術活動の推進に当たり、障がい者の参加や多文化共生などの視点を盛り込んだ。

（問）市民から寄贈の尾形光琳「紅白梅図屏風」の複製品が市に保管されていることが市民団体の展示企画で発覚した。文化財管理の徹底をすべき。



（答）引継ぎがされておらず担当課も存在を知らなかった。今後、この様なことがない様に管理を徹底したい。

また、市の財産管理のあり方についても検討する。



② 知立市野外センター条例の廃止について

市が廃止を提案した理由は、開設時の平成7年と比べ、野外教育活動や生活様式などが変化し、野外センター(伊那市)が野外教育の場としての役割を果たしたと判断したため。廃止の日は令和5年4月1日。

市民が使う「公の施設」の廃止 = 議会としての着眼点

地方自治法で公の施設の目的は「住民の福祉を増進する目的をもって住民の利用に供する」もの。設置・廃止には議会の議決が必要と規定。

- ・ 廃止の方針が固まるまでのプロセスはどうか？
- ・ 今後の「山の学習」等の教育活動に影響はないか？
- ・ 一般市民も利用もする施設を廃止することへの認識は？

⇒市議会ではこれまで各議員が一般質問や質疑でセンター廃止の是非、市民への説明責任等を質してきました。



② 知立市野外センター条例の廃止について（質疑の概要）

（問）長年使われてきた施設の廃止に至った経緯と検討の経過の説明を。廃止の目的が「コスト削減」と否めないのでは。



（答）平成28年に検討委員会を設置し、関係部署や学校との協議、市民アンケート等から出した結論。「野外教育の変化に対応」「生徒・保護者の負担軽減」が主な理由。

（問）小中学校の「山の学習」などの教育活動に影響はないのか。



（答）学校からは県内の野外教育施設の利用により同様の活動ができると意見があり、問題はない。

（問）公の施設の廃止は重いが認識は。また、施設は今後、どうするのか。



（答）廃止の経緯等を市民にしっかりと説明する。2年かけて施設のあり方を譲渡等を含め検討する。

① 自転車乗車用ヘルメット購入補助事業【予算額：140万1,000円】

(問) 新規での事業実施だが、その背景や目的は何か。また、市の単独事業か。



(答) 愛知県が令和3年10月1日より自転車乗車用ヘルメット着用を努力義務化。着用の促進と交通事故の人的被害の重大化を防ぐため。県より一部補助を受けての実施。

(問) 7歳~18歳、65歳以上の市民が対象だが、補助の内容は。



(答) 安全認証マークのある新品で、購入金額の1/2、2,000円が上限。購入後、安心安全課に申請を。

(問) 自転車に乗る機会の多い子ども達へ周知の為、教育委員会と連携を。



(答) 制度の活用ができるように高校も含め周知に努める。



②街頭防犯カメラ設置事業【予算額：100万8,000円】

(問) これまで街頭カメラ設置は町内会等へ補助のみで、市が街頭に設置はしていなかった。なぜ、新たに設置を始めるのか。



(答) 市として公共施設へは設置してきた。市内の犯罪発生状況は減少傾向だが、街頭カメラを効果的な場所に設置することで、犯罪抑止や犯罪捜査に役立てるため。

(問) 設置場所はどこか。また、何台の設置を予定しているのか。



(答) 警察と相談し、知立駅周辺の電柱等に5台を設置予定。時期は未定。併せて「防犯カメラ作動中」の看板も設置する。





ご清聴ありがとうございました

知立市議会 企画文教委員会
令和3年3月定例会報告



おわり